

第一部

12時30分開場
13時00分開演

狂言

佐渡狐

【おどろし】

山本則重 (大蔵流)

※出演者が変更になりました。

能

弱法師

【よろぼし】

観世恭秀 (観世流)

能「弱法師」観世恭秀
(撮影:前島久男)

第119回 川崎市定期能

能と狂言

2020年8月22日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料:各部4,000円(全席指定)

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

振替公演

第二部

15時30分開場
16時00分開演

※振替前と時間が異なります。

能「二人静」
岡本房雄・田邊哲久
(撮影:前島吉裕)

狂言

長光

【ながみち】

山本泰太郎 (大蔵流)

※出演者が変更になりました。

能

二人静

【ふたりしずかたちいでのしせい】

立出一声

田邊哲久 (観世流)



2020年7月27日(月)午前9時より川崎能楽堂 電話にて一般発売

*7月17日(金)より3月14日公演の際に払い戻しをいたしましたお客様には優先販売を行います。(先着順)
*優先販売期間後、残数があれば7月27日(月)より一般発売を行います。初日は電話のみ(回線混雑の為電話が繋がるまでにお時間をいただく場合がございます)、翌日以降川崎能楽堂窓口でも販売いたします。(先着順)なお、ホームページでの販売は行いません。
*座席は前後左右を空け、半数の席で販売いたします。

チケット発売日

チケット取扱・
お問い合わせ

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00 (水曜定休日)

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647
後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルスの影響により、日時・内容等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が
実演つきでわかりやすく解説します。

◆日時:2020年8月15日(土) 10:00~11:30
◆会場:川崎能楽堂

◆講師
田邊 哲久(観世流・シテ方) 他

◆定員:74名(先着順)
◆料金:無料

*第119回川崎市定期能振替公演チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

狂言 佐渡狐

シテ俊徳丸 観世 恭秀

シテ佐渡の百姓 山本 則重 アド 越後の百姓 山本 則秀
アド奏者 山本 泰太郎

能 弱法師

ワキ 高安通俊 野口 能弘
アイ通俊の従者 山本 凜太郎

大鼓 柿原 弘和
小鼓 森澤 勇司 笛 小野寺竜一

後見 木原 康之
寺井 榮

地謡 川原 恵三
武田 尚浩
関根 知孝
上田 公威

※出演者が変更になる場合がございます。

狂言 佐渡狐【さどぎつね】

佐渡の国の百姓(シテ)と越後の国の百姓(アド)が年貢を納めに都へ行く途中、道連れになります。越後の百姓は佐渡には狐がないだろうと言い、佐渡の百姓は狐はいると言い張ります。2人は腰の刀を賭けることにしますが佐渡の百姓は狐を見たことがないので姿態がわかりません。都の領主の館に着くと、佐渡の百姓は奏者(取次役・アド)に年貢を納めるついでに事情を話し、賭路を贈ります。みかえりに奏者は、佐渡の百姓に細かく狐の姿を教えます。あとからきた越後の男が佐渡の男に狐に関する質問をすると、佐渡の男は奏者の助けで賭けに勝ち刀を取って去りますが…。

能 弱法師【よろぼし】

河内国(大阪府)高安の里の左衛門尉通俊(ワキ)は、さる人の讒言を信じて一子俊徳丸(シテ)を追放してしまつたことを不憫に思い、天王寺に詣で、俊徳丸のために7日間の修行を行います。一方俊徳丸は、悲しみのあまり盲目となり、よろよろと歩くところから弱法師と呼ばれる乞食となつていました。春の彼岸の中日、杖を頼りに天王寺へやってくる、その様子を見た通俊が、言葉掛け、施し物を取らせませす。修行を受けていると弱法師の袖に梅の花が散りかかり、彼は仏の慈悲を讃え、天王寺建立の縁起を物語ります。その姿を見て、弱法師が我が子であることに気付いた通俊は、夜になって自分が父であることを明かします。俊徳丸は自分の身を恥じて逃げようと思つますが、父がその手を取り、二人は連れ立って高安の里へ帰ります。

※時節柄、一部省略をして上演させていただきます。

狂言 長光

ツレ 菜摘女 岡本 房雄
シテ 静の霊 田邊 哲久

シテすっぱ 山本 泰太郎 アド 田舎者 山本 凜太郎
アド目代 山本 則重

能 二人静

ワキ 静の神主 野口 能弘
立出之一声

大鼓 柿原 弘和
小鼓 森澤 勇司 笛 小野寺竜一

アイ従者 山本 則秀

後見 寺井 榮
観世 恭秀

地謡 川原 恵三
上田 公威
武田 尚浩
木原 康之

※出演者が変更になる場合がございます。

狂言 長光【ながみこ】

男(アド)が訴訟の用件も無事に済み、故郷への土産を買いに市場へ出かけます。賑やかな市を見物して歩いていると、馴れ馴れしく髭の男(シテ)が近づいてきます。そればかりか男が手に持った太刀を盗もうとします。怒った男が人を呼ぶと、髭の男も同じく人を呼びます。駆けつけた目代(小アド)に男が事情を話せば、髭の男も盗み聞きして自分の物だと強く言い張ります。しかし太刀についての様々な質問に答えるうちに…。

能 二人静【ふたりしずかたちいでいっせい】

立出之一声

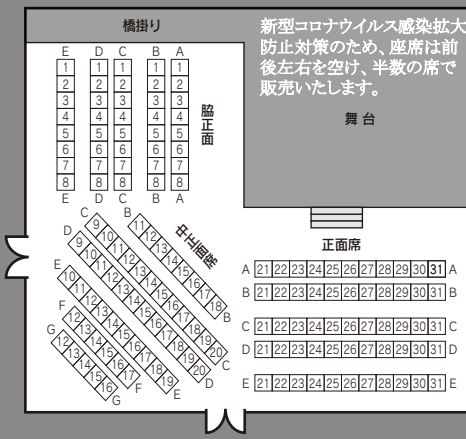
吉野の勝手神社の神職は、正月七日の神事に若菜を供えるため、女を若菜摘みに行かせます。女が若菜を摘んでいると、一人の女が現れ、吉野に帰つたら一日経を書いて自分を供養してくれるよう伝えてほしいと頼み、もし疑う人がいたらあなたに憑いて名を明かしましょうと言つて消え失せます。菜摘女はこの事を神職に伝えますが、そのうちに気色が変わり、驚いた神職が名を問うと、静御前であることをほのめかします。神職は舞を所望し、跡を弔うことを約束します。女が舞の装束をつけると、静御前の霊も現れ、女の影に添うごとく、義経の吉野落ちの様子を語りつつ、二人一体の如く舞い、後の回向を頼んで、静の霊は去っていきます。

※「立出之一声」という特殊演出により後シテの演出が常と変わります。

※時節柄、一部省略をして上演させていただきます。

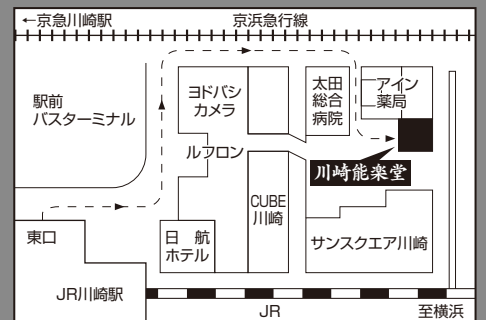
次回公演のお知らせ

2020年9月21日(月・祝)
第120回 川崎市定期能
～観世流鏡仙会～
第1部 12:30開場 13:00開演
狂言「呼声」山本 則俊 6月21日の
能「富士太鼓」鶴澤 久 延期公演
第2部 15:30開場 16:00開演
狂言「悪坊」山本 則秀
能「女郎花」浅見真州
チケット発売日:8月28日(金)より川崎
能楽堂電話にて発売予定(先着順)
2020年10月17日(土)14時開演
第12回 狂言全集
「二人大名」山本則俊
「栗 焼」山本則重
「船 渡 聲」山本東次郎
チケット発売日:9月11日(金)より川崎
能楽堂にて発売予定(先着順)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

川崎能楽堂座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂案内図

